演習Ⅰ

科目ナンバリング　SEM-301
必修　　2単位

古市　将人

1. 授業の概要（ねらい）

卒業後、どのような進路を選ぼうとも、ある問題を調査し、その結果を報告書として提出し、または人前でプレゼンテーションをする機会に遭遇する。本演習では、最終的に参加者が自分の関心のあるテーマを選び、文献調査や資料収集を通して、自らの問題関心を深める能力を構築することを目標としている。諸問題に関して理解を深めながら、調査能力、分析能力、結果の整理・発表の能力を身につけていくことがこの演習の目的である。以上の能力を身につけるために、本演習では、文献の輪読や資料の読解を行う。本演習では、基本的に、日本財政や地方財政に関する問題を取りあげる予定だが、参加者の問題関心に沿って演習をすすめていく。

春学期は、財政学や政府統計の基本を学ぶ。次に、文献の輪読を通じて、資料の作成、プレゼンの基本について学び、最終的にはレポートの書き方を学んでもらう。基本的な課題は以下の通りである。

①調査・研究能力を鍛える
・政府HPや自治体HPより、基礎的な資料や統計の入手の仕方を理解する。
・集めた資料を素材に基礎的な分析方法を覚える。
・文献の輪読を通じて、テーマの設定、分析の手法について学ぶ。

②グループ毎に特定のテーマに取り組む
具体的なテーマにグループで取り組み、その成果を発表する（春学期最終報告）。

③内外の合同ゼミに参加し、ゼミ活動での成果を発表する

2. 授業の到達目標

（1）他の人と協力して調査研究を行い、その成果を報告できる。
（2）公的な統計・資料を収集し、特定のテーマについて調査することができる。
（3）規定の様式に従ったレポートを執筆し、その内容を報告できる。

3. 成績評価の方法および基準

基本的に、演習への参加状況や発表などを踏まえ、総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
高端正幸・佐藤滋　『財政学の扉をひらく』　有斐閣、2020年。
MELIC2階の指定図書コーナーには、参考文献の多くが揃っている。これらの文献や参加者の関心に即した論文をゼミでは輪読する。

参考文献
高端正幸・伊集守直編　『福祉財政』　ミネルヴァ書房、2018年。
駒村康平編　『貧困』　ミネルヴァ書房、2018年。
橘木俊詔編　『格差社会』　ミネルヴァ書房、2012年。
濱口桂一郎編　『福祉と労働・雇用』　ミネルヴァ書房、2013年。
埋橋孝文編　『生活保護』　ミネルヴァ書房、2013年。
山口裕之　『コピペと言われないレポートの書き方教室：3つのステップ』　新曜社、2013年。
伊藤修一郎　『政策リサーチ入門―仮説検証による問題解決の技法』　東京大学出版会、2011年。
井手英策編　『日本財政の現代史Ⅰ　土建国家の時代　一九六〇～八五年』　有斐閣、2014年。
諸富徹編　『日本財政の現代史Ⅱ　バブルとその崩壊　一九八六～二〇〇〇年』　有斐閣、2014年。
小西砂千夫編　『日本財政の現代史Ⅲ　構造改革とその行き詰まり　二〇〇一年～』　有斐閣、2014年。

5. 準備学修の内容

毎回の課題文献・論文の指定箇所を事前に読みこみ、疑問点や興味深い点を整理しておくこと。課題文献に関する問題をLMSに事前に公開しておくので、履修者は事前に問題を解いておくのが望ましい。演習内では、課題について議論をする。また、報告担当者は自分の報告準備を入念にすることが望ましい。各回の授業で、履修者が取り組む例題とその解説については、LMSにアップロードしておくので、事前に一読するのが望ましい。

6. その他履修上の注意事項

第1回目と第8回目はオンライン授業（LMSのオンデマンド形式）である。ただし、第8回目のオンライン授業回を変更する可能性もある（その場合は事前に連絡をする）。

人前で発表することや、文章執筆を過度に怖がる必要はありません。心配いりません、必ずできるようになります。

7. 授業内容

【第1回】　春学期は、①発表の練習、②文献の輪読をする。輪読を通して各人の問題意識を深める。参加者の希望などを考慮して課題を決定する。第1回目では、春学期の演習内容に関する解説や課題図書の説明などを行う。テキストに依拠しながら、春学期は演習を進める。第1回目はオンライン授業（LMSのオンデマンド形式）である。
【第2回】　「リサーチクエスチョン」について学ぶ：社会問題と財政
テキスト該当箇所：第0章
【第3回】　予算決算統計と財政（1）：テキスト第1章輪読
【第4回】　予算決算統計と財政（2）：政府統計を用いた実習
テキスト該当箇所：第1章
【第5回】　租税と信頼について：テキスト第2章輪読
【第6回】　私たちの生活と社会保険：テキスト第3章輪読
【第7回】　各グループの研究テーマを検討
【第8回】　論文の輪読：日本の財政問題を学ぶ論文を読む予定。
この回の講義はオンライン授業（LMSのオンデマンド形式）
【第9回】　春学期最終報告の研究テーマの検討と決定
【第10回】　公債論と財政：テキスト第4章輪読
【第11回】　地方財政を理解する：テキスト第5章輪読

【第12回】　資料・データの収集とその検討

【第13回】　資料・データの収集とその検討及び最終報告の準備
【第14回】　春学期最終報告
【第15回】　春学期最終報告と春学期の内容の復習